

新型インフルエンザ疑似症患者の 移送訓練

～京都市立病院及び連携施設並びに京都市による合同訓練～

1

開催概要

◆日時

11月11日 14時～16時

(第3回 感染防止対策地域連携カンファレンス)

◆参加機関

京都市立病院

京都回生病院

連携施設(現地5施設、オンライン30施設)

下京西部医師会

京都市消防局

京都市保健所

公益社団法人 京都保健衛生協会

総勢103名の方に
御参加いただきました！



会場(市立病院)の様子

2

移送訓練の目的

京都市保健所では、令和6年3月に京都市保健所健康危機対処計画を策定。同計画に基づき、健康危機事案発生に備えた体制整備を平時のうちから進めるため、令和6年度から実践型訓練による人材育成を推進してきた。

今回の市立病院との移送訓練で、1)～3)について確認することで、保健所の健康危機事案発生時の移送対応が的確に実施できるようにする。

- 1) 疑似症患者発生～移送までの一連の流れを確認
- 2) 第2種感染症指定医療機関である市立病院への移送を実際に行い、移送時の連携について改めて確認
- 3) 感染病床到着後の疫学調査方法や防護具の脱衣場所を確認

3

移送訓練の内容

①情報伝達訓練

⇒市立病院近隣の連携医療機関の外来患者に疑似症例発覚～入院受入準備

②移送訓練

⇒市立病院近隣の連携医療機関から京都市立病院へ移送

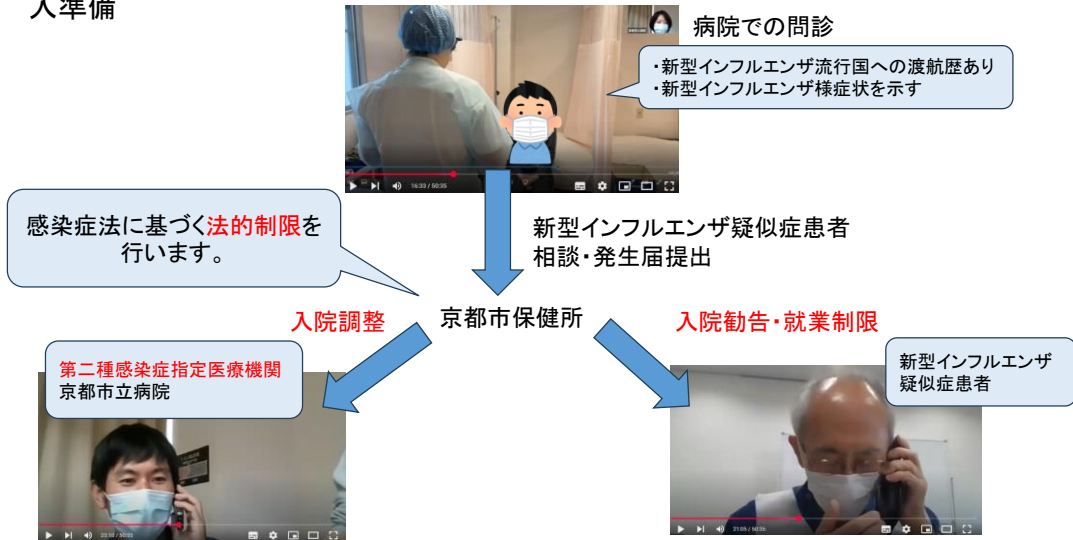
③受入訓練

⇒京都市立病院にて入院受入れ

4

①情報伝達訓練

⇒市立病院近隣の連携施設の外来患者にて新型インフルエンザ疑似症例発覚～入院受入準備



5

②移送訓練

病院から感染症指定医療機関の京都市立病院へ患者を移送します！



6

③受入訓練

患者が京都市立病院感染症病床入口に到着しました！



7

③受入訓練



8

まとめ

- ・ 今回の京都市立病院との移送訓練は、防護服を着用して本番さながらの緊張感がある中、実際に患者役を搬送して、丁寧に手順を確認する等、実践的な内容であり、保健所の対応能力向上を図ることができた。
- ・ また、健康危機事案発生時に患者を受け入れていただく京都市立病院と相互に手順を確認し、連携を強化することができた。
- ・ さらに、京都市立病院の連携カンファレンスで取り上げていただいたことで、地域の医療機関の皆様にも、健康危機事案発生時における保健所の対応に関する理解が深まった。
- ・ 今後とも計画に基づく実践型訓練を通じて京都市立病院をはじめとした医療機関の皆様と連携を図り、次の健康危機事案に備えていく。